



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話☎2111 内線240



桜
花
爛
漫

1996

5

No.361

5月5日、子供の日
児童動物園にて

○モニュメントの前で三味線を弾く
三味線教室の生徒たち



●仁太坊が三味線を弾く姿をイメージした
モニュメント「津軽の音」



○完成したフロントゲート



● 芦野湖の浮島



フロントゲート広場、モニュメント「津軽の音」、 芦野湖の浮島 お目見え

芦野公園フロントゲート（北の公園入口）広場は芦野湖の一部を埋め立てし、約七十五台の駐車スペースを備えた中里方面からの玄関口として整備しました。

総事業費は一億二千五百万円（北の公園入口）広場は芦野湖の一部を埋め立てし、約七十五台の駐車スペースを備えた中里方面からの玄関口として整備しました。

芦野公園北側玄関ともなる入口には、高さ約八・二m、幅約九・二mのコンクリート造りタイル張りのフロントゲートと駐車場が既に完成しています。あとは車道の舗装と芝生・樹木を植栽して今年度中に完成。

このフロントゲートの整備に合わせて金木町が津軽三味線発祥の地であることを多くの人に知ってもらう意味を込

め、津軽三味線の始祖、神原の仁太坊が三味線を演奏している姿をイメージし、表現したモニュメント「津軽の音」を広場中央に設置しています。

町のシンボルとなる「津軽の音」は台座の高さが一m三十cm、本体高さ一m七十cm。芦野公園近くで私設美術館を開館している櫻庭利弘さんがデザインし、津軽金山焼の松宮亮二窯元により製作されたもので、桜まつり開幕式に合わせて四月二十九日に関係者を集め、除幕式が行われました。

そして芦野湖上（桜松橋下）に浮き島が登場。平成七年度から県の事業として進められていた約百五十平方メートルの滝を流す水質浄化施設の機能を備える浮き島は、桜まつりに花を添えるために登場しました。本格的に稼働するのは七月初旬の予定です。



● 観光シンボル標識

観光案内の役割



● 観光案内標識

シンボル標識完成

大宰のふるさとづくり事業の一環として工事が進められていました平成七年度の観光案内標識がこのほど完成。千二百万四千円の事業費をかけて観光案内標識が町内一円に十五基と、観光シンボル標識が嘉瀬入口の国道三三九号と町道の分岐点に一基設置されました。

この標識は、観光客の増加地域の活性化を図ると共に、観光案内の役割を果たしてきます。

《ゴミの不法投棄はやめましょう》

たかがゴミを捨てるぐらいと思っても、今は昔と違い不法投棄は大きな罪となります。

(廃棄物処理及び清掃に関する法律、27条により6ヵ月以下の懲役又は50万円以下の罰金に処する)。



《ゴミの収集日について》

燃えるゴミの日については、1週間に1回となりましたが、祝祭日も収集します。

燃えないゴミについては、祝祭日は収集しませんので、間違えのないようお願いします。



▲花見客で賑わう芦野公園内

金木さくらまつり

金木桜まつりが四月二十九日から県立芦野公園で開催され、五月五日までの期間中に大型連休が重なった事も手伝ってか県内外から三十八万五千人の花見客が訪れ、思い思いの花見を楽しみました。

芦野公園は、西北五地方最大の桜の名所で日本さくらの会による日本さくらの名所百選にも選定されています。

初日には、芦野公園北側フ

ロントゲートで開会式が行われ、田中町長らがテープカットをして開幕を祝いました。

この日は園内の桜もまだつぼみで、天気は小雨と悪いコンディションにもかかわらず花より団子とばかりに車座になって楽しむ家族連れやグループで賑わいました。

今年の桜まつりは、四月に入ってから低温が続き、昭和五十二年以来の寒い春で、桜は連休が終わってからようやく満開になりました。

期間中の行事では野外ステージで行われた津軽三味線全国金木大会には全国から腕に自信のある百三十四人が参加し、力強いバチさばきを桜見物の観光客等に披露。この他にもスポーツ大会や馬力大会、歌謡ショー、二日の雨で順延となった花火大会も三日には無事行われ、夜空に大輪の花を咲かせました。好天だった四日には最高の十二万人の人数で、お化け屋敷の見せ物小屋の呼び声や出店が立ち並ぶ通りでおでんや焼き鳥のにおいが立ち込め、まつり気分を一層盛り上げていました。



消防団員 勇姿を披露



に放水を行い、見事な水のアーチを作りました。

この後開かれた観閲式では、金木・中里町、市浦・小泊村の二町二村七百六十八名の消防団員が勢揃いして勇姿を披露しました。

式には、多数の来賓の方が出席、日頃の消防活動への感謝と激励や祝辞を述べました。表彰者は次のとおり

(金木町関係分)

◆消防庁長官表彰

△永年勤続功労章 分団長

秋元憲一

◆青森県知事表彰

△永年勤続功労章 副分団長

白川幹雄 山口善三

◆日本消防協会会長表彰

△精績章 副団長 三上保

◆青森県消防協会会長表彰

△優良消防分団 金木町消防

団第二分団

△優良消防分団(現場功労)

金木町消防団第二分団

△勤功章 副分団長 原田修

部長 工藤勝栄 団員 工藤光明

藤光明

△二十五年勤続章 副分団長

白川幹雄 山口善三

△二十年勤続章 副分団長

中村光弘 成田峻造 部長

川口稔 班長 川口新造

鳴海保幸

△十五年勤続章 副分団長

今清作 部長 沢田誠一

泉谷哲夫 班長 前田竹彦

徳田重夫 団員 野宮清

三潟成太郎 土岐保友 原

田豊 工藤薫

△十年勤続章 部長 工藤勝

栄 班長 外崎誠一 小林

達弘 団員 松尾壽雄 白

川武 秋元慶蔵 中谷重夫

前田正廣 前田治 前田久

白川源三郎 白取勝美 小

松久 平川久悦 今弘師

蛸島浩喜

◆青森県消防協会

△北五支部長表彰

部長 中谷明良 秋元秀樹

班長 今清治 団員 野宮

清 木下美人

◆西北五消防団

△連絡協議会長表彰

部長 鎌田善光 団員 須

崎曉 白川清文
◆金木北部消防団

連絡協議会長表彰

班長 中野治 白川強 成
田好廣 団員 福士賢二
平川新也 桑田直喜

春の叙勲に其田氏

勲六等単光旭日章(消防功労)

其田輝夫氏(65歳) 川倉

其田輝夫氏は、昭和二十四年五月から退職される平成七年一月迄の四十五年九ヶ月間、消防団員として消防業務に精励した事などが認められ、この度の受賞となりました。これを受け其田氏は、「突

話していました。



まちのゴミひとつ

公園の清掃はまかせて



▲こまかいゴミも一つ一つ拾い集めて……

四月二十三日、金木小、金木中、金木高校の児童生徒が芦野公園とその周辺の清掃をしました。

これは、金木町校外指導連絡協議会（会長 高屋正治 金木中学校長）が児童生徒の健全育成活動の一環として毎年実施しているもので、金木小五・六年生百四十五人、金木中三年生九十人、金木高校二年生八十二人が出勤。

高屋校長が「金木町の宝である芦野公園を皆の力できれいにしましょう。」と挨拶。

この後、児童はゴミ一つ一つを燃えるゴミと燃えないゴミとに分けて拾い集め、桜まつりに備えました。



▲慣れた手つきで次々と……

第一回 県春の クリーン大作戦

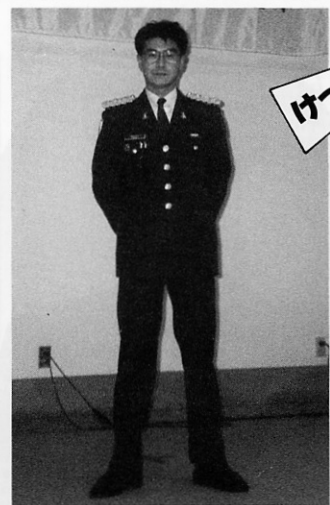
「ゴミのない美しい街づくり」を目指した第一回県春のクリーン大作戦が四月二十七日、県内各地一斉に開かれました。

金木町内では三十九老人クラブの皆さんがボランティアで町内全域にわたる大がかりな清掃を行いました。

この日参加した約七百五十名は、大型連休前とあって県内外の観光客の皆さんにきれいな金木町を見て頂きたいと、デレキとゴミ袋を手にとったの吸い殻や空き缶など見つけたは、一つ一つ拾い集め社会奉仕に務めました。

けっぱれ

元気でらがあ



▶ 職業 陸上自衛官 1等陸尉
▶ 氏名 石戸 誠一
▶ 年齢 30歳
▶ 出身 金木町 芦野
▶ 家族 妻 二男

金木町の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

月日の経つのは早いもので高校を卒業し、防大進学のために金木町を後にしてから既に十年以上が過ぎました。私は、四年間の神奈川県での防大生活の後、幹部候補生としての勉強のために福岡県久留米市に移り、現在は福岡県郡山市に住んでおります。ここ郡山での生活も、既に七年半になろうとしています。

同じ東北に住んでいるということで、故郷金木町には、夏や冬の休暇時等によく帰省しております。金木町も年々変わってきていますね。常に新しい何かが出来ており、帰省時にはいつも驚いております。またその反面、金木中

学校の新築のように、思い出場所が無くなり、寂しい思いも時々感じております。

さて私たち自衛隊員の任務は、申すまでもなく国家の防衛であります。私たちはこのために、各地の演習場で訓練しております。この文章も北海道での訓練の合間に書いております。私が不在がちなため、家族にはいつも寂しい思いをさせていますが、これも仕事とあきらめてもらっています。私たちは、今後も訓練に励んでいますので、皆さんのご理解・ご声援をお願いします。

それでは金木町の皆さん、これからも金木町の発展のために頑張ってください。